



スマイル! TOGO

自分らしく生きる力を身につけ、
なかまとたくましく歩む子

令和5年度「学校評価」12月結果について、お知らせします。7月結果との比較もご覧ください。

福井市東郷小学校 学校だより
令和6年1月18日 第27号
TEL 41-0003 FAX 41-0974
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

令和5年度 福井市東郷小学校 学校評価(12月結果・7月との比較)

→福井市共通評価項目(B)

重点目標	スクールプラン数値目標	12月		7月		児童	12月		7月		保護者	12月		7月		教職員
		12月	7月	12月	7月		12月	7月	12月	7月						
東郷っ子みんなで作る	11	自他を大切に認め、一緒に取り組んでいる(児童90%)	95	94	みんなで何かをするのは楽しい。	93 92	84 78	・学校は、子どもたち一人一人を大切に温かく指導している。市・我が子は、自他を大切に、関わっていきこうとする心が育ってきていると感じる。	100	100	自分は、児童が自分や友達のことを大切に、補い合って一緒に取り組んでいけるような環境づくり、人間関係づくりに努めている。					
	12	最後まで意見をはっきり話す(児童85%)	89	88	最後まで意見をはっきり話している。	73	68	我が子は、自分の考えや思いを相手にしっかりと伝えることができる。	100	100	自分は、児童が自分の考えや意見を最後まではっきり話せるよう、考えや意見のたせ方を工夫したり、最後まで話す指導をしたりしている。					
			95	90	道徳の時間には考えを深めることができている。			11対応	100	100	本校は道徳の授業時間を確保し、心を見つめさせたり生き方について考えさせたりする指導に努めている。					
	21	自分たちの課題に気づいたり、取り組んだりしている(児童80%)	93 98	91 97	・学校生活での自分たちの課題に気づいたり、話したり、決まったことを取り組んだりしている。 ・自分たちのことを自分たちで考えて決め、実行しようとすることは、大切だと思う。	94	85	児童が自分たちの課題を「自分事」としてとらえ、よりよい方向に進むよう考え、決めたことを実行しようとすることは、子どもの成長にとってよいと感じる。	100	100	自分は、児童が自分たちの課題に気づき、自分たちで考えて決め、実行していくよう、発達段階に応じた支援をしている。					
	22	将来の夢や目標をもっている(児童85%)	90	89	将来の夢やめざす目標をもっている。	51	49	我が子は、将来の夢やめざす目標をもっていると感じる。	100	100	本校は、児童が夢や目標をもち、その実現に向け努力するよう、キャリア教育に力を入れている。					
自分の考えを自分なりの方法で発信・実行する児童	23	郷土福井(東郷)を大切にしたい(児童90%)	99	95	ふるさと福井である東郷を大切にしたいという気持ちをもっている。	64	52	我が子は、ふるさと福井や東郷を大切にしたいという気持ちをもっていると感じる。	100	100	本校は、児童が郷土福井への関心を高めたり、大切に感じたりできる活動に十分にに取り組んでいる。					
	24	教育目標や児童につけたい力について理解した(保護者90%)	99	95	自分にとって、「つけたい4つの力 たくましさ」はこれから生きていく上で大切な力だと感じる。	94	85	学校だより・授業参観・懇談会等を通して伝えられた学校教育目標や「つけたい4つの力 たくましさ」は、適切だと感じている。 ①自分を知り、好きになる力 ②人を大切に、関わっていく力 ③自分の考えをもち、語る力 ④失敗を恐れず、挑戦する力	100	100	自分は、教育目標やつけたい力について理解し、授業等で意識して取り組んでいる。					
	25	児童につけたい力を意識して、教育活動を提案・計画・実践した(教師100%)	92 92 99	86 90 97	・授業に自分から進んで(主体的に)取り組んでいる。 ・授業がよく分かる。 ・先生は授業内容を一生懸命教えてくれる。				100	100	本校は、発達段階や児童一人一人に応じた授業づくりに熱心に取り組んでいる。					
	市	ア37(30) イ20(24) ウ17(15) エ23(7) オ3(25) ※()は7月結果			授業で、PC、タブレットなどのICT機器を使っている。アは毎日 イ週3回以上 ウ週1回以上 エ月1回以上 オ月1回未満			ア53(27) イ33(33) ウ7(27) エ7(0) オ0(13) ※()は7月結果			自分は、子どもたちの効果的な学びのために、PC、タブレットなどのICT機器を使用している。アは毎日 イ週3回以上 ウ週1回以上 エ月1回以上 オ月1回未満					
	市															
丁寧な支援と丁寧な説明で	31	学校が楽しい(児童91%)	87	84	学校が楽しい。	92	79	我が子は、学校生活を楽しくしており、友人関係も良好である。	100	100	自分は、児童の様子を日頃からよく見たり、継続的な言葉がけなどの関わりをもったりして、児童が楽しいと思える学校(学級)づくりに努めている。					
	32	学校の考えが適切に伝えられている(保護者90%)			24対応	94 96	81 84	・学校は、「懇談会」「学校だより」等を通して、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えている。 ・教職員定時退庁日ははじめとする働き方改革の取組を理解できる。	100	100	本校は、スクールプランに基づき、目指す子どもの姿の実現に向けて協働して取り組んでいる。					
	33	安全面を指導している(保護者85%)	94	92	交通安全や生活面の安全に気をつけて生活している。	93	81	学校は、災害対応訓練や不審者への対応、交通安全など、安全面について適切に指導している。	100	100	本校は、登下校時の安全や災害時・不審者の対応等、適切に指導を行っている。					
	34	学校全体で児童理解・支援につなげた(教師100%)	87 97	78 93	・いじめを見たら、大人に知らせたり、止めたりすることができる。市 ・先生は、困ったときには相談に乗ってくれたり、よくないことをしたときはしっかりと注意してくれたりしている。	91	77	子どものことで、気軽に学校に相談できる。	100	100	本校は、関係機関と連絡を取ったり、校内で情報を共有したりして、気になる児童に十分な支援を行っている。					

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない(Eは保護者のみ)

令和5年度学校評価の12月結果を載せました。「児童」「保護者」「教職員」についてご覧ください。「12月」と書いてある欄の数字が今回の結果です。「7月」と比較し、上回ったところ(同数も入れる)は赤字で示したところ、全ての項目について7月より向上し、本当にうれしくありがたい結果となりました。数字は「A:よくあてはまる」「B:ややあてはまる」を合計した割合です。(紙面の都合で字が小さく申し訳ありません。)

★重点目標「自分の考えを、自分なりの方法で、発信・実行する児童」の取り組みについて

児童評価では「学校生活で自分たちの課題に気づいたり、話したり、決まったことを取り組んだりしている」が**93%**、「自分たちのことを自分たちで考えて決め、実行しようとすることは、大切だと思う」が**98%**、「自分にとって、『つけたい4つの力』はこれから生きていく上で大切な力だと感じる」が**99%**となりました。これは、年間を通じて高学年を中心に全学年で行った「課題に気づき、みんなで決めて取り組む活動」が、自分たちの成功体験としてしっかりと根付いたからだと思います。気づき、話し、決め、実行するには、本校のつけたい4つの力全てが問われます。1年間の取り組み全てを通して、少しずつですが確実に4つの力をつけ、それがまた自分への自信や相手への信頼にもつながっていると感じます。

「学校教育目標やつけたい4つの力について理解した」保護者評価も**94%**と、ご理解を賜りました。今後もお子様に「つけたい力」をつけるための教育活動を全力で行い、お子様に力をつけていくことで、益々のご理解をいただけるよう努めて参ります。

★重点目標「東郷っ子みんなで作る仲間作り」の取り組みについて

児童評価「みんなで何かをするのは楽しい」**95%**、保護者評価「我が子は、自他を大切にしていこうとする心が育ってきていると感じる」**92%**と、取り組みの成果が出ています。これからは、在校生・卒業生それぞれに合唱を作り上げ、卒業を祝う会、卒業式に向かっていきます。「歌を通じてお互いを高め合い、尊重し合う」という大切な経験を積み、「みんなで支え合う仲間」がさらに実感できるようにしていきたいです。

★重点目標「丁寧な支援と丁寧な説明で応える学校」の取り組みについて

保護者評価「我が子は学校を楽しんでおり、友人関係も良好である」**93%**、「学校は保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えている」**92%**、「学校は災害対応訓練や不審者への対応、交通安全など、安全面について適切に指導している」**93%**、「子どものことで気軽に学校に相談できる」**91%**と、学校の取り組みに対しご理解をいただきました。一方で、児童評価「学校が楽しい」**87%**と、唯一目標値を下回りました。児童にとって、学校は学習や人間関係作りなど、自分の思ったようにはいかないことがあるのも事実です。その困り感を見逃さず、子どもに合った支援の在り方を共に考えること、丁寧な説明で安心してもらい、実施に移していくことを両輪とし、児童一人一人の「やっぱり学校は楽しい!」につなげていきます。

★市項目「タブレットなどのICT利用状況」について

児童評価・教職員評価を見ると、7月より利用頻度は上がっています。タブレットを使っていけばいいということではなく、タブレットを使ったより効果的な授業の在り方を考え、今後も実践していきます。 ※結果は学校HPにも掲載します。そちらでもご覧ください。

キ リ ト リ

☆学校評価12月結果その他について、ご感想やご意見をお寄せください。(年 組)